

報道関係各位

【ニュースリリース】

2026 年 9 月 29 日

株式会社スペースシフト

誰でも直感的な操作で衛星データ解析を実行可能に SateAIs™の新機能「マップ解析」リリース

～地図で囲むだけ、AI に話しかけるだけで、船舶・油膜・建物・地表の変化をブラウザ上で解析～

株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役：金本成生、以下スペースシフト）は、衛星データ解析サービス「SateAIs™（サテアイズ）」の Web コンソールに、誰でも直感的な操作で衛星データの AI 解析を実行できる新機能「マップ解析」を追加し、2026 年 9 月 25 日より提供を開始したことをお知らせいたします。新機能では、地図上で見たい場所を指定する操作と、画面内の AI アシスタントへチャット入力で依頼する方法の 2 通りで解析を実行でき、どちらの方法でも解析結果はそのまま地図上に表示されます。これまでプログラムや GIS ソフトを使う必要があった衛星データ解析を、ブラウザ上の操作だけで行えるようになりました。

■ 背景：専門知識が必要だった衛星データ解析

衛星データは、広い範囲の状況を現地に行かずに把握できる手段として、海運・港湾、不動産、インフラ管理、環境監視など幅広い分野で関心が高まっています。一方で、データの検索・取得・解析には専門的な知識やツールが必要で、ビジネスの現場の担当者が自ら扱うのは難しいのが実情でした。

スペースシフトはこれまで、SateAIs™ API（β版）の公開に続き、Python/JavaScript・TypeScript の公式 SDK、コマンドラインツール（CLI）、生成 AI 連携（MCP）、GIS ソフト「QGIS」の公式プラグインなどを順次提供し、開発者や GIS 実務者が衛星データ解析を使いやすい環境を整えてきました。今回の新機能は、プログラミングや GIS の知識を持たないビジネス担当者にも、衛星データ解析の利用を広げるものです。

- [SateAIs™ API 公式ドキュメントはこちら](#)
- [公式 SDK・CLI の提供開始に関するプレスリリースはこちら](#)
- [生成 AI（MCP）・BI ツール連携に関するプレスリリースはこちら](#)

■ 新機能の概要

新機能では、「地図で範囲を指定する」「AI に依頼する」の 2 つの方法で、衛星データ解析を実行できます。

① 地図で範囲を指定するだけで解析

地名で場所を探し、解析したい範囲を四角形または自由な形（多角形）で囲みます。解析の種類と日付を選んで実行すると、結果が地図上に表示されます。衛星データのファイルや座標系といった専門的な知識は必要ありません。

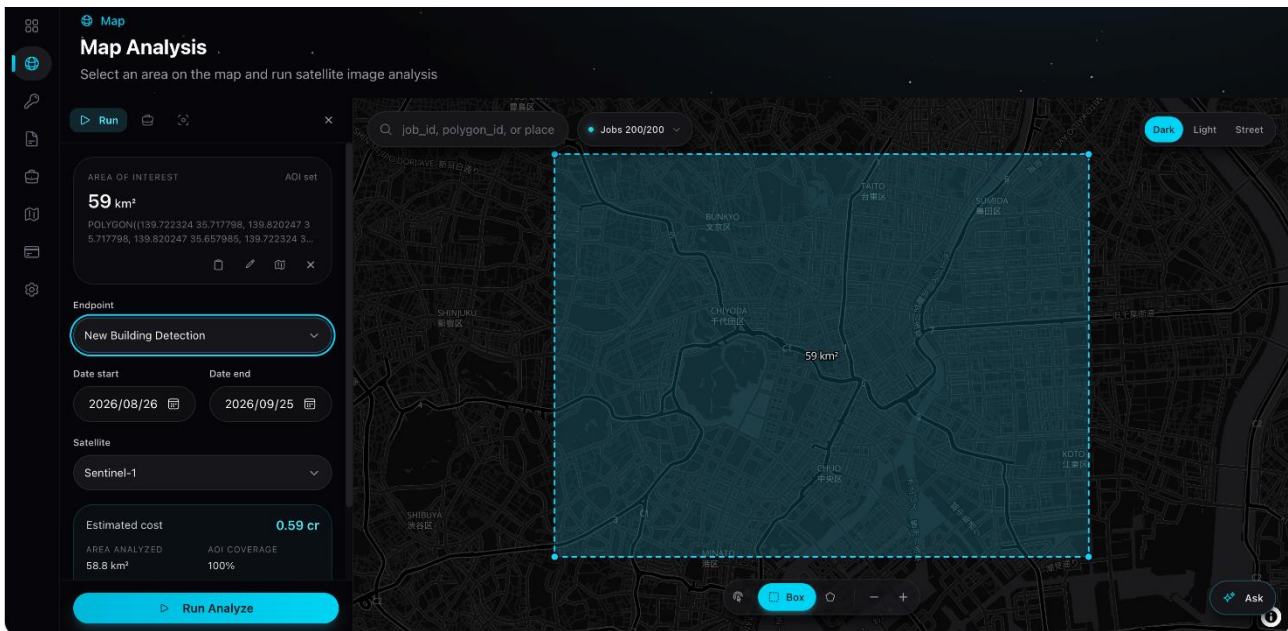


図 1：地図上で解析範囲を指定する様子

② AI アシスタントへチャット入力で依頼するだけで解析

画面内のチャットに「東京湾の船を 1 週間分調べたい」のように入力すると、AI アシスタントが解析の範囲や条件を提案します。内容を確認して承認すると、解析が実行されます。解析の進み具合もチャットで確認できます。

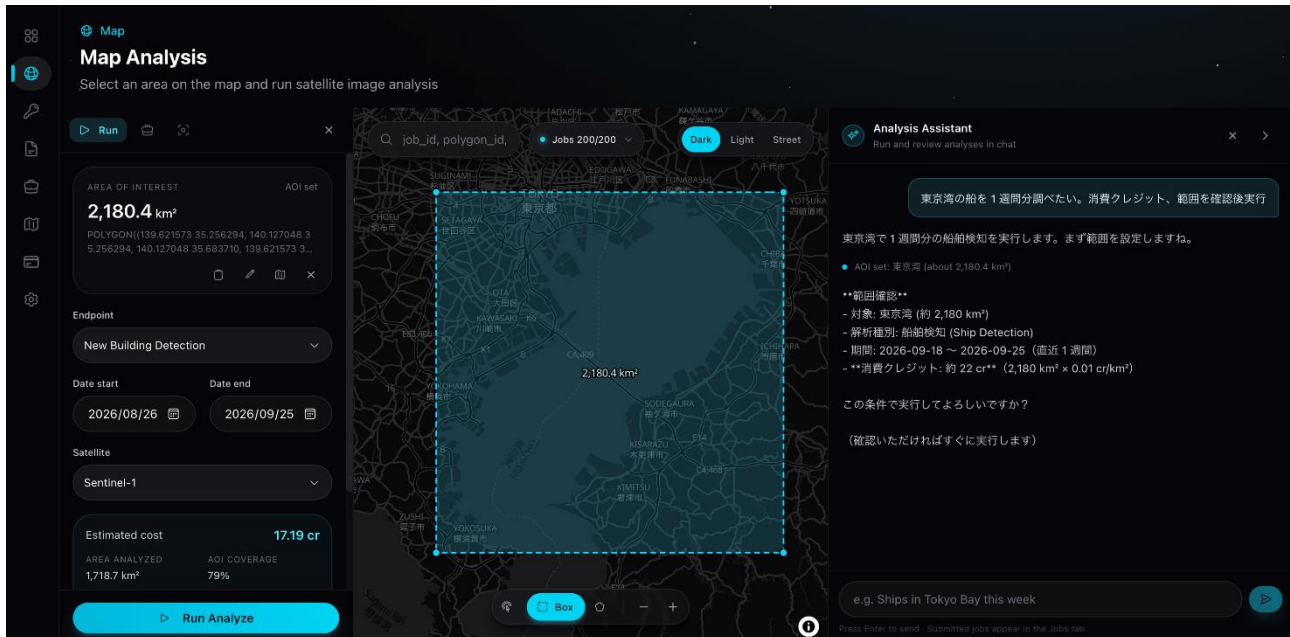


図 2 : AI アシスタントに解析を依頼する様子

③ 結果は地図上ですぐに確認

どちらの方法で実行した解析も一覧で管理され、選択するとその場所へ移動して、結果が地図上に表示されます。

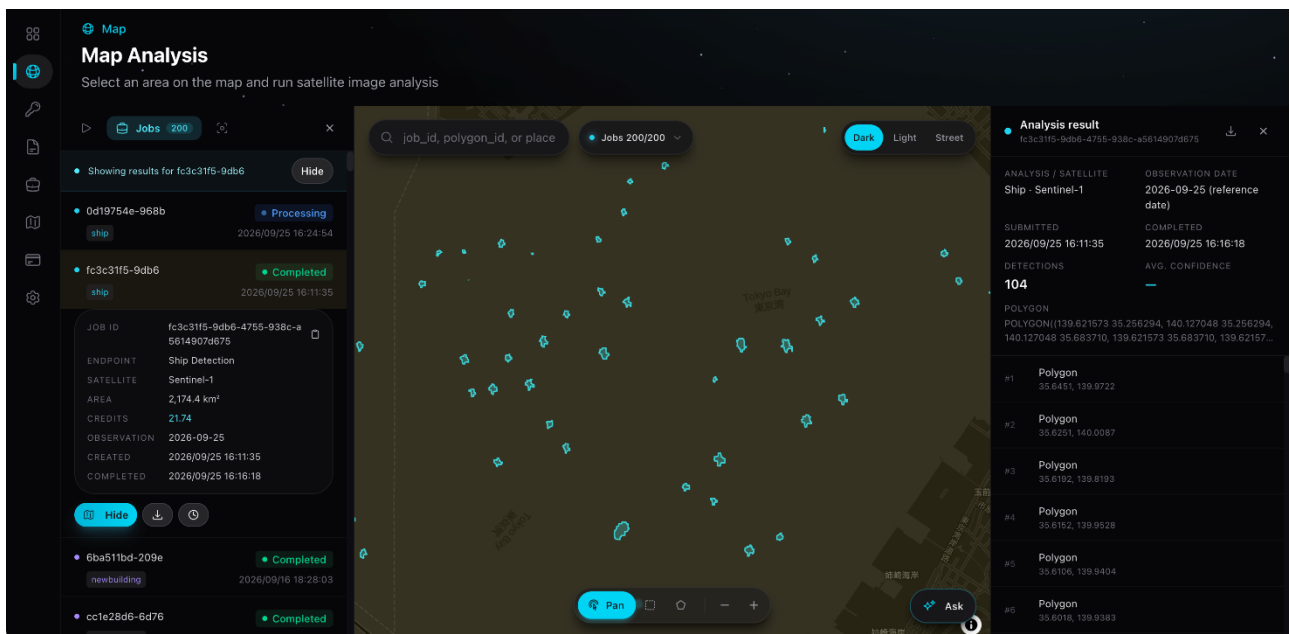


図 3 : 解析結果を地図上に表示した様子

■ 解析できる内容

2026 年 9 月 29 日現在、以下の 5 種類の解析を利用できます。

表 1：新機能で利用できる解析と想定される活用例

解析の種類	分かること	想定される活用例
船舶検知	指定した海域にある船の位置と数	港湾の混雑状況の把握、海域監視
オイルスリック検知	海面に広がった油の範囲	海洋汚染の早期把握、環境モニタリング
新規建物検知	期間内に新しく建った建物	開発動向の把握、不動産・都市計画
消失建物検知	期間内になくなった建物	解体状況の把握、固定資産管理
時系列変化検知	同じ場所が時間とともにどう変化したか	工事の進み具合やインフラ周辺の変化の把握

解析には、欧州宇宙機関（ESA）が運用する観測衛星「Sentinel-1」のデータを使用します。Sentinel-1 は電波で地表を観測する「SAR（合成開口レーダー）」方式のため、雲や夜間の影響を受けにくいのが特長です。なお、観測の頻度や撮影日は衛星の運用条件によって決まります。

■ ご利用方法

SateAls™ コンソールでアカウントを登録すると、無償で付与される 500 クレジットの範囲で新機能を利用できます。クレジットは解析した面積に応じて消費されます。実行前に必要なクレジット数が表示されるため、消費量を確認してから解析を始めることができます。

- SateAls™ コンソール：<https://console.spcsft.com/>

【スペースシフトについて】

2009 年 12 月設立。「Sense the Unseen from Orbit（地球上のあらゆる変化を認識可能に）」をテーマに、地球観測衛星から得られたデータを解析する AI の開発を行っています。インフラ管理、防災・減災、農業、環境保全など、様々な分野で活用可能な衛星データ解析パッケージ「SateAls（サテアイズ）」を展開。また、事業共創プログラム「SateBiz（サテビズ）」を通じて、衛星データを用いた持続可能な社会の実現を目指しています。

【会社概要】

会社名：株式会社スペースシフト（英文表記：Space Shift, Inc.）

代表者：代表取締役 金本成生（かねもと なるお）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6 階

設立：2009 年 12 月 11 日



資本金：7 億 399 万円（資本準備金含む）

URL：<https://www.spcsft.com/>

<本リリースに関するお問合せ>

株式会社スペースシフト（担当：元村、内田、宮田、真島）

お問い合わせ E-mail：pr@spcsft.com